

ニ影バカリカ、一向ニ明リバカリカニスルコト也。夜會ノ掛物ハ、大字ノモノカ、トカクハキトシタル物ヲ掛ケテ、燭ナラデモ見好キ物ヲカクベシ、食物ナドモ其心得ニテ、骨ナキ喰好キ物ヲ出スベシ、

飯後會

〔茶道筌蹄一〕茶會

飯後菓子茶といふ朝飯後は五ツ半時、晝飯後は九ツ半とき、いづれも菓子の茶也、朝飯後は正午の

茶會の邪魔にならぬやう、晝飯後は夜ばなしの邪魔にならぬやうに、客の心得第一也、

〔南方録二〕菓子會

是も不時會也、いとまなき人は、わび數寄の饗應をはぶきて、菓子にて可參と云、菓子にて一服可進といふたぐひ也、案内有ての不時と心得べし、

〔和泉草三〕菓子之茶の湯

一菓子ノ茶湯ハ、不時之茶湯ノ又輕キ物ナリ、常ノ茶之湯ノ格ニ替テ、面白仕成專一也、

〔槐記〕享保十二年八月十二日、參候、昔在常修院殿○慈胤法親王ノ茶入ノ袋切ヲ、後西院へ御所望ナサレ

シニ、迎ノ義ニ、蓋袋トモニ此御方ニテ調進アルベシトテ、其出來シタル日ニ、公○近衛家照ニモ御出

ニテ、共々ニ御遊アリシガ、飯後ニ不圖後西院ノ勅詔ニ、幸ニ此茶入ニテ一服獻セラレヨ、即チ龜

ガ茶屋ニ掃除モ出來タリ、アレニテ菓子ノ茶湯セラレヨ、御茶ヲ初メ道具ハ坊城平松へ云付テ、

何ナリトモ恩借セラレヨ、早々ト御所望ナリシカバ、サレバトヨ、如何アルベキヤトテ、御立アリ

テ御茶屋へ御座アリシガ、程ナク御案内アリテ、後西院、無上方院、公モ御入アリシ時ノ花生ニ、青

竹ヲクロギ柴ノ大小黒青ヲマゼアハセテ、クルリト卷テ、二所ヲ藤蔓ニテク、リテ、ソレニ連翹

ノ大枝ト、根ジメニ花トヲ入ラレタリ、時ニトリテノ御働ト云、十五年三月廿二日、參候、野村新

兵衛ガ伺ヒ奉リテクレヨト申スコトノ侍リ、古へヨリ飯後ノ茶ト申スコトノ侍ルヨシニテ、亡